

高度職業訓練(専門課程)の訓練指導を担当するために必要な指導技法を習得できるコースです。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業訓練指導員免許を所持している方 ・ 普通職業訓練の訓練指導を担当している方
担当できる資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業訓練指導員免許(専門課程担当資格)

訓練内容

■ 訓練スケジュール

<4～6月> 職業能力開発総合大学校で、以下の3つの能力を習得します。

1 職業能力開発指導力

職業能力開発に対する総合的な視点を持ち、現状の職業能力開発を評価する力を習得します。また、専門分野の職業環境の現状を把握でき、求められる能力の特徴に応じた指導計画の立案や訓練を実施する能力を習得します。

2 訓練コーディネータ力

人材ニーズの変化に応じた訓練コースの見直しや、新規コース開発のための調査分析について習得します。

3 キャリア・コンサルティング力

企業や教育におけるキャリア支援体制やキャリア支援内容を理解し、指導業務に携わるうえでの心構えや知識を習得します

<7～9月> 実習施設で、OJT実習※の指導計画や企業への訪問、相談者への支援方法を学び、実践的な知識・技術等を習得します。

※OJT実習:「コース修了後のキャリア」に紹介されている施設にて実際の職業訓練の指導のやり方を学ぶ授業のこと

■ 訓練科目の例

- 能力開発学科
 - 職業能力開発原理応用
 - キャリア・コンサルティング応用Ⅰ
 - キャリア・コンサルティング応用Ⅱ
 - コース開発法Ⅰ
 - コース開発法Ⅱ
- 能力開発実技
 - 高度訓練実施実践
 - コーディネート実践
 - キャリア・コンサルティング実践Ⅰ
 - キャリア・コンサルティング実践Ⅱ
 - 職業能力開発原理実践

※訓練科目の最新情報はホームページをご確認ください



本冊子の2ページで、実際に高度職業訓練を担当している皆さんの声をご紹介します。



コース修了後のキャリア

都道府県が運営する公共職業能力開発施設

● 職業能力開発短期大学校

地域のニーズに応じながら、就職後必要となる知識や技能を教え、民間企業の即戦力となる人材を育成します。

教える主な対象者 ・ 高卒者等 ・ 在職者

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

● 職業能力開発短期大学校 ● 職業能力開発大学校

仕事に必要な高度で専門的な技能・技術・知識を備えた人材を育成します。地域の企業と共同研究を行ったり、入試業務や広報業務に携わったりすることもあります。

教える主な対象者 ・ 高卒者等 ・ 在職者